

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月 4日 更新

事務事業名		小中学校用務員配置事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	栗木 清智
	施策	9	義務教育の充実		所属課	学校教育課	担当者名	綾 悠里
	施策の柱	31	学力の向上		所属班	学務指導班	(内線)	5327
予算科目		会計一般	款 10	項 2	目 1	事業連番 10629 他	根拠法令	
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	学校用務の円滑な実施のためはじまった。旧町で用務員を導入した当初は、正職員で対応していた。途中から平成19年度まで、非常勤職員及び人材派遣会社からの派遣で対応するようになった時期もあったが、平成20年度から全て、市直接雇用の非常勤職員になった。 【事業の内容】 各小中学校に学校用務員を各1名配置し、環境整備等学校用務を円滑に実施する。ただし、合志小学校には、スクールバスの運転手がいるので、用務員業務を兼任している。 令和2年4月より、一般職非常勤職員から会計年度任用職員へ移行した。 令和5年度より、小中学校運営事業に統合。
【業務の流れ】	用務員任用業務、毎月の業務日誌確認、毎月の報酬支払い業務 (学校用務員9名)
【主な予算費目】	報酬、期末手当、費用弁償
【意見や要望】	学校長からは季節感のでの環境整備や清掃をはじめ、印刷業務や書類の仕分、来客者の接待、電話の対応等に至るまで、学校に貢献しているという評価をいただいている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
学校用務を円滑に遂行するため、各学校へ1名(合志小の1名は運転手と兼務)合計10名の学校用務員を配置した。	学校用務を円滑に遂行するため、小中学校に配置する。令和5年度より、小中学校運営事業に統合。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
ア: 小学校学校用務員数	人	令和5年度より、小中学校運営事業に統合による減
イ: 中学校学校用務員数	人	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
小中学校児童生徒及び教職員		ア: 小中学校児童生徒数
		イ: 小中学校教職員数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
学校用務を円滑に遂行してもらい、児童生徒及び教職員に対して学校の教育に専念できる環境を作る。		ア: 小学校において円滑に授業が行われた日数の割合
		イ: 中学校において円滑に授業が行われた日数の割合
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
学校における環境整備は、児童生徒の精神の安定と情操教育のために有用と考えられ、教職員が教育に専念するためにも学校用務員は不可欠な存在となっている。小中学校において、毎日整った環境で授業が実施されることがこの事業の最大の目的であるとするため。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 人		6	7	7	7				
	イ 人		3	3	3	3				
② 対象指標	ア 人		7,139	7,173	7,357	7,317				
	イ 人		378	474	480	490				
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100				
	イ %		100	100	100	100				
投資	財源内訳	千円								
	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
入費	一般財源	千円	12,920	15,496	16,058	15,433				
	(A) 事業費計	千円	12,920	15,496	16,058	15,433				
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0				
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0				
	人件費	千円	315	46	0	45				
量	正規職員従事人数	人	4	2	4	2				
	延べ業務時間	時間	80	12	0	12				
トータルコスト(A)+(B)	(B)人件費計	千円								
	千円		13,235	15,542	16,058	15,478				

事務事業名	小中学校用務員配置事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	-------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 来年度も継続して事業を実施するため。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 現在の状況で十分成果は上がっている。ただし、現状を維持していくためには事業を継続していく必要がある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和5年度より、小中学校運営事業に統合する。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 学校運営上必要な人員であり削減余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 平成23年度からスクールバスの運転手として配置している正規職員を合志小の用務員業務を兼務させ、経費の削減をしている。最低限の事務時間でありこれ以上の削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 義務教育の一環であり、費用負担は適正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 義務教育を推進するうえで必要な人員であり適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

学校から用務員へ、用務員からの学校へのお互いの意見を双方向にフィードバックさせ、よりよい学校運営を図る。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						